

大阪市立大学大学院経済学研究科

経済格差研究センター研究員

大西 祥 恵

表1 問1 年齢はおいくつですか

	人数	割合
20歳未満	2	1.7
20-24歳	7	6.0
25-29歳	5	4.3
30-34歳	8	6.8
35-39歳	12	10.3
40-44歳	18	15.4
45-49歳	14	12.0
50-54歳	8	6.8
55-59歳	31	26.5
60-64歳	11	9.4
65-69歳	1	0.9
70-74歳	0	0.0
75歳以上	0	0.0
合計	117	100.0

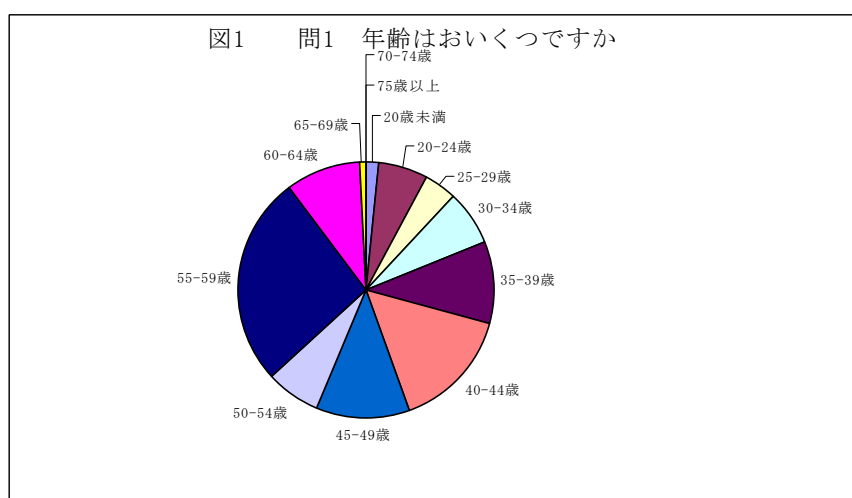
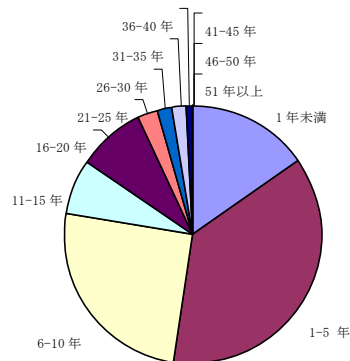


表 1、図 1 は、年齢についてみたものである。最も多かったのは「55-59 歳」で 31 人 (26.5%) であったが、他の年齢層も一定割合を占めていることがわかる。すなわち、「40-44 歳」と回答した者が 18 人 (15.4%)、「45-49 歳」と回答した者が 14 人 (12.0%)、「35-39 歳」と回答した者が 12 人 (10.3%) に上っている。また、数は少ないものの 20 歳未満、20 歳代の者もみられ、比較的年齢の低い者が含まれている。

表 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか

年数	人数	割合
1 年未満	18	15.7
1-5 年	42	36.5
6-10 年	29	25.2
11-15 年	8	7.0
16-20 年	10	8.7
21-25 年	3	2.6
26-30 年	2	1.7
31-35 年	2	1.7
36-40 年	1	0.9
41-45 年	0	0.0
46-50 年	0	0.0
51 年以上	0	0.0
有効回答者数	115	100.0
不明	1	
非該当	1	
合計	117	

図 2 問 2 あいりん地域で仕事をして何年くらいになりますか



あいりん地域で仕事をして何年くらいになるかを問うたところ、最も多かったのは「1-5年」と回答した者で42人（36.5%）であった（表2、図2）。次いで、「6-10年」で29人（25.2%）、「1年未満」で18人（15.7%）を占めていた。つまり、この10年以内にあいりん地域で仕事を始めた者が多く、7割5分を超えていることがわかる。時期としては、バブル経済崩壊後にあいりん地域で仕事を始めた者が半数以上を占めているといえる。

一方で、「36-40年」という者も1人いたが、これは高度成長期後半から第一次オイルショックの時期にあたる。

表3 問3 現在、住んでいるのは、あいりん地域内ですか

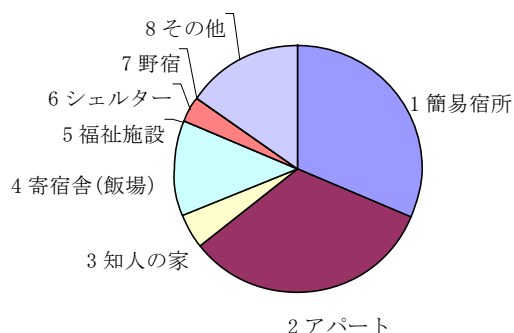
	人数	割合
はい	63	53.8
いいえ	54	46.2
合計	117	100.0

表3は、現在住んでいるのはあいりん地域内かを聞いた結果であるが、「はい」と回答した者が63人（53.8%）、「いいえ」と回答した者が54人（46.2%）を占めていた。あいりん地域内に住んでいない者が4割5分を超えていることがわかる。

表4 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか

	人数	割合
1 簡易宿泊所	35	31.3
2 アパート	37	33.0
3 知人の家	5	4.5
4 寄宿舍(飯場)	14	12.5
5 福祉施設	0	0.0
6 シェルター	4	3.6
7 野宿	0	0.0
8 その他	17	15.2
有効回答者数	112	100.0
不明	5	
合計	117	

図3 問4 最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りしたのはどこですか



最近1ヶ月間に、一番多く寝泊りした場所を問うたところ、多かったのが「アパート」で37人(33.0%)、「簡易宿泊所」で35人(31.3%)であり、それぞれ3割以上を占めた(表4、図3)。

また、「その他」のなかにはネットカフェと回答した者もみられたが、ほとんどは自宅と回答している。「アパート」とあわせると、5割弱は自分の家に居住しているといえる。

表5 問5 日雇雇用保険手帳(白手帳)を持っていますか

	人数	割合
1 持っている	49	43.0
2 以前は持っていたが、今は持っていない	24	21.1
3 作ったことがない	41	36.0
有効回答者数	114	100.0
不明	3	
合計	117	

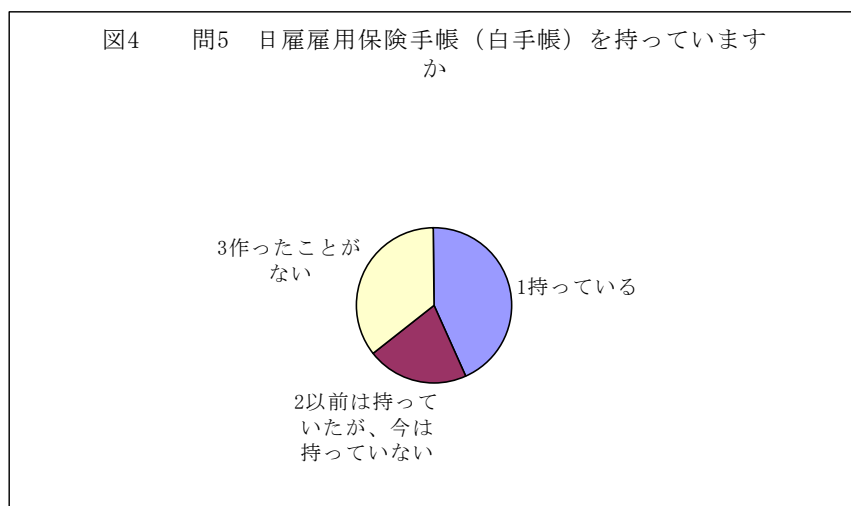


表 5、図 4 は日雇雇用保険手帳（白手帳）の所持について聞いた結果を示したものである。「持っている」と答えた者が 49 人（43.0%）、「作ったことがない」と答えた者が 41 人（36.0%）、「以前は持っていたが、今は持っていない」と答えた者が 24 人（21.1%）となっている。

表 6 問 5-1 日雇雇用保険手帳（白手帳）を持っている場合の今月の認定資格

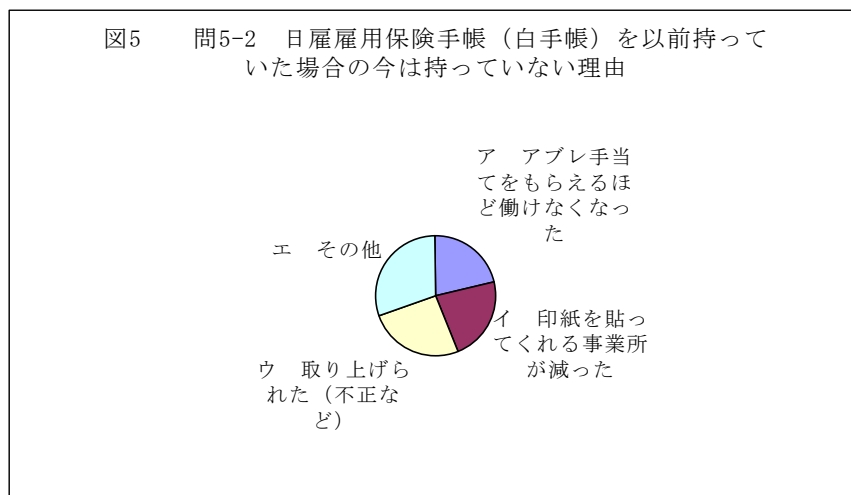
	人数	割合
有	10	23.3
無	33	76.7
有効回答者数	43	100.0
不明	6	
非該当	68	
合計	117	

日雇雇用保険手帳（白手帳）を所持していると回答した者に、今月の認定資格の有無を聞いたところ、「無」と回答した者が 33 人（76.7%）、「有」と回答した者が 10 人（23.3%）となっていた（表 6）。今月の認定資格の無い者が 7 割 5 分強を占めていることがわかる。

表7 問5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の今は持っていない理由

	人数	割合
ア アブレ手当てをもらえるほど働けなくなった	5	21.7
イ 印紙を貼ってくれる事業所が減った	5	21.7
ウ 取り上げられた(不正など)	6	26.1
エ その他	7	30.4
有効回答者数	23	100.0
不明	4	
非該当	90	
合計	117	

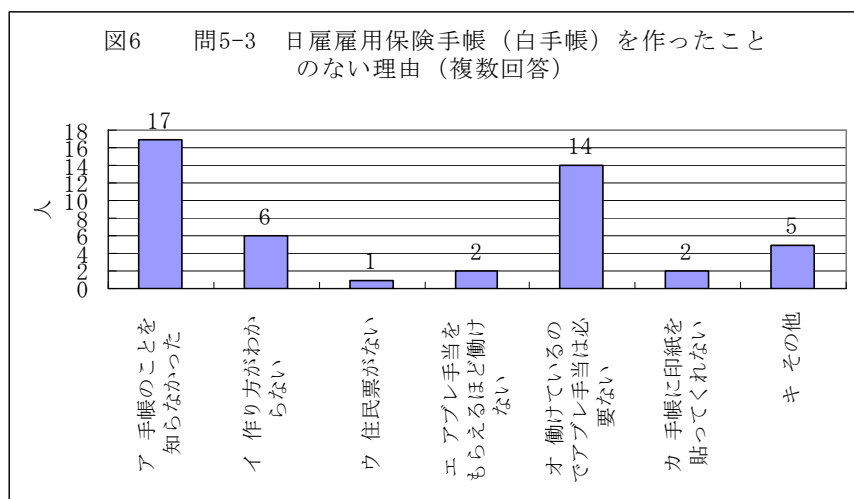
図5 問5-2 日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた場合の今は持っていない理由



日雇雇用保険手帳(白手帳)を以前持っていた者に、今は持っていない理由を聞いたところ、「その他」が最も多かったが、次いで、「取り上げられた(不正など)」で6人、「アブレ手当てをもらえるほど働けなくなった」で5人、「印紙を貼ってくれる事業所が減った」で5人となっており、それぞれ2割以上を占めている(表7、図5)。

表 8 問 5-3 日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 手帳のことを知らなかった	17	42.5
イ 作り方がわからない	6	15.0
ウ 住民票がない	1	2.5
エ アブレ手当をもらえるほど働けない	2	5.0
オ 働けているのでアブレ手当は必要ない	14	35.0
カ 手帳に印紙を貼ってくれない	2	5.0
キ その他	5	12.5
有効回答数	47	117.5
有効回答者数	40	
不明	4	
非該当	73	
合計	117	



日雇雇用保険手帳(白手帳)を作ったことがないと回答した者に対して、作ったことのない理由を問うた結果が表 8、図 6 である。「手帳のことを知らなかった」と回答した者が最も多く、17人(42.5%)と4割を超えている。次いで、「働けているのでアブレ手当では必要ない」と回答した者が多く14人(35.0%)となっている。

表 9 問 6-1 日雇健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	22	26.8
無	60	73.2
有効回答者数	82	100.0
不明	35	
合計	117	

表 10 問 6-2 建退共手帳に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	18	22.8
無	61	77.2
有効回答者数	79	100.0
不明	38	
合計	117	

表 11 問 6-3 国民健康保険に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	53	53.5
無	46	46.5
有効回答者数	99	100.0
不明	18	
合計	117	

表 12 問 6-4 国民年金に加入していますか。(現在)

	人数	割合
有	17	21.8
無	61	78.2
有効回答者数	78	100.0
不明	39	
合計	117	

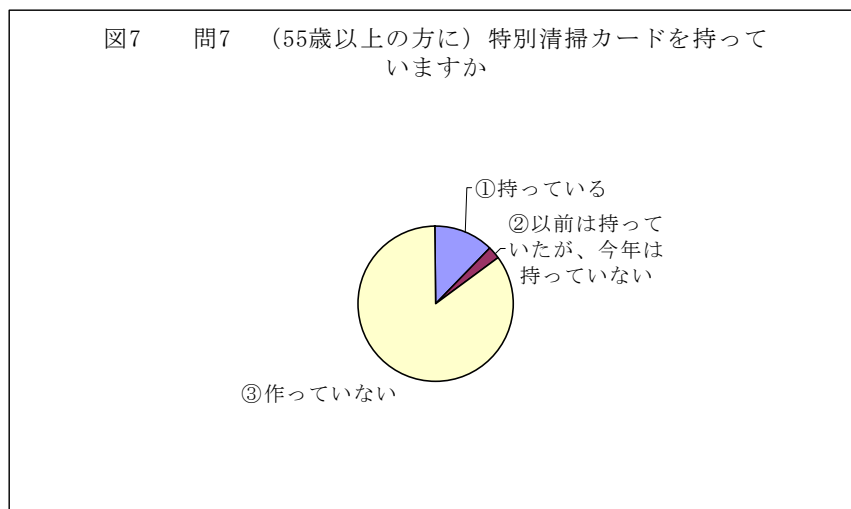
問 6 では、日雇健康保険、建退共手帳、国民健康保険、国民年金への加入状況について質問している（表 9～12）。日雇健康保険、建退共、国民年金については、加入していない者が 7 割を超え、特に国民年金に加入していない者が 8 割近くを占めている。

一方、国民健康保険については加入している者が5割強を占めている。

なお、日雇健康保険と国民健康保険はいずれも公的医療保険制度であり、制度的にどちらか一方しか加入できないことを考えると、この「技能講習室窓口来訪者調査」においては、公的医療保険制度に加入している者が、実に8割を超えていることになり、相対的に高いといえる。

表 13 問 7 (55 歳以上の方に) 特別清掃カードを持っていますか。

	人数	割合
①持っている	5	12.5
②以前は持っていたが、今年を持っていない	1	2.5
③作っていない	34	85.0
有効回答者数	40	100.0
不明	5	
非該当	72	
合計	117	



特別清掃カードを有しているかどうかについて聞いたところ、55歳以上の者40人のうち、「作っていない」と回答した者が34人で8割5分を超えている(表13、図7)。反対に、「持っている」と回答した者は5人(12.5%)となっている。

表 14 問 7-1 特別清掃カードを持っている方の輪番への参加状況

	人数	割合
ア いつも来る	2	50.0
イ たまに	2	50.0
ウ めったに来ない	0	0.0
その他	0	0.0
有効回答者数	4	100.0
不明	1	
非該当	112	
合計	117	

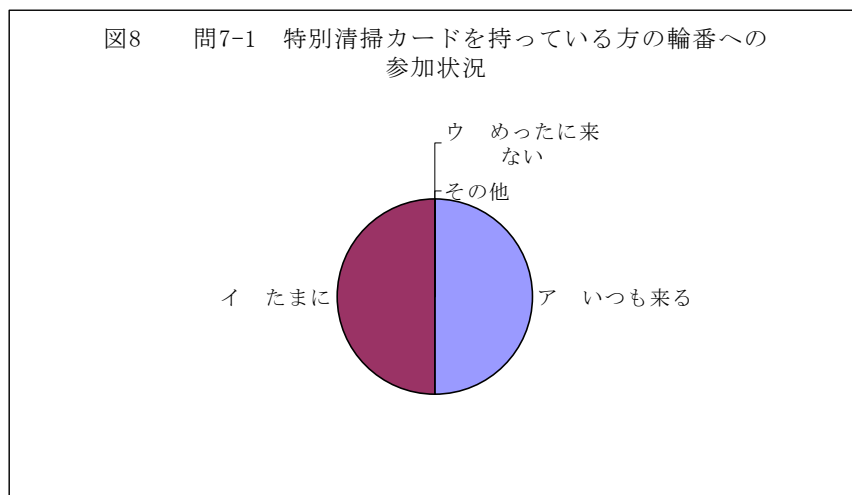
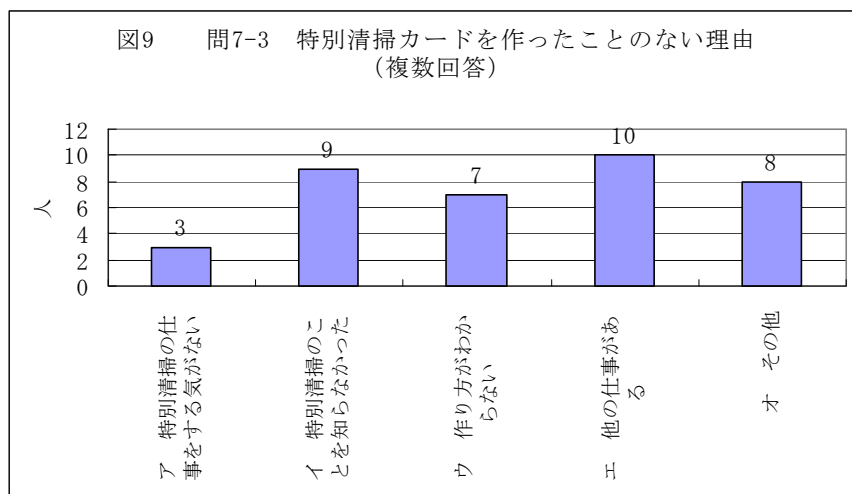


表 14、図 8 は、特別清掃カードを持っていると回答した者に対して、輪番への参加状況を聞いた結果である。「いつも来る」と回答した者が 2 人、「たまに」と回答した者が 2 人であった。

表 15 問 7-3 特別清掃カードを作ったことのない理由(複数回答)

	人数	割合
ア 特別清掃の仕事をする気がない	3	9.1
イ 特別清掃のことを知らなかった	9	27.3
ウ 作り方がわからない	7	21.2
エ 他の仕事がある	10	30.3
オ その他	8	24.2
有効回答数	37	112.1
有効回答者数	33	
不明	6	
非該当	78	
合計	117	



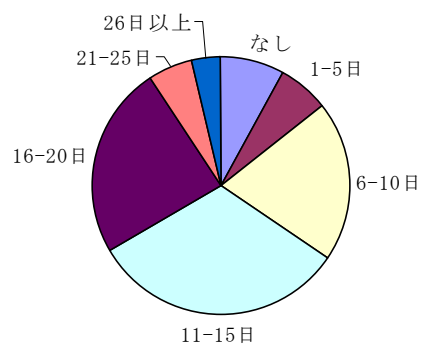
また、特別清掃カードを作ったことがないと回答した者に、その理由を問うたところ、「他の仕事がある」と答えた者が10人と3割強を占めた(表15、図9)。また、「特別清掃のことを知らなかった」と答えた者が9人みられる。

表 16 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年9月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	9	8.2
1-5日	7	6.4
6-10日	22	20.0
11-15日	35	31.8
16-20日	27	24.5
21-25日	6	5.5
26日以上	4	3.6
有効回答者数	110	100.0
不明	7	
合計	117	

図10 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか (2008年9月の現金と契約で仕事をした日の合計)

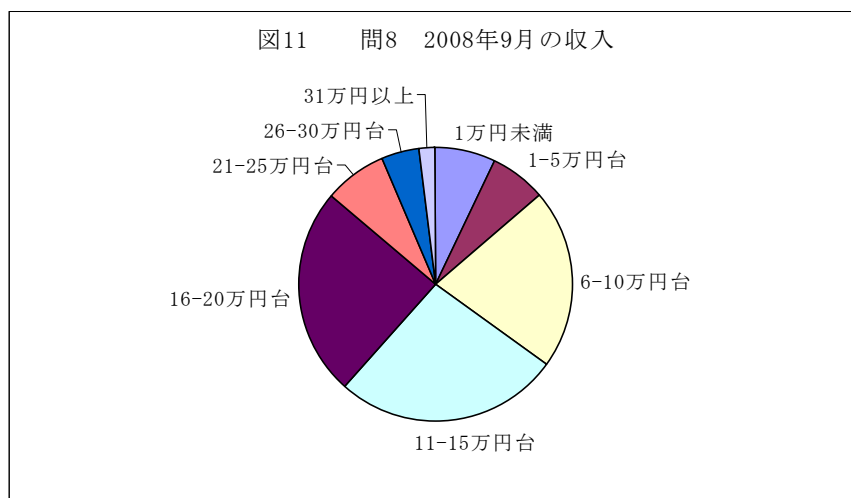


2008年9月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日を合計したところ、「11-15日」と回答した者が35人(31.8%)で最も多かった(表16、図10)。次いで、「16-20日」と回答した者が27人(24.5%)、「6-10日」と回答した者が22人(20.0%)とそれぞれ2割以上を占めている。

表 17 【2008 年 9 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	8	7.3
1-5 万円台	7	6.4
6-10 万円台	23	21.1
11-15 万円台	29	26.6
16-20 万円台	27	24.8
21-25 万円台	8	7.3
26-30 万円台	5	4.6
31 万円以上	2	1.8
有効回答者数	109	100.0
不明	8	
非該当	0	
合計	117	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。



2008 年 9 月の仕事による収入について聞いたところ、最も多かったのが「11-15 万円台」と回答した者で 29 人（26.6%）となっており 4 分の 1 以上を占めている（表 17、図 11）。次いで、「16-20 万円台」と回答した者で 27 人（24.8%）、「6-10 万円台」と回答した者で 23 人（21.1%）とそれぞれ 2 割を超えている。

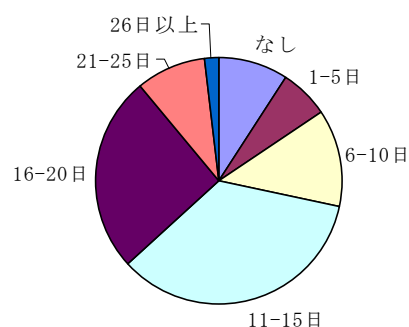
また、2008 年 9 月の収入が 11 万円以上であった者を合計すると、6 割 5 分を超えている。

表 18 問 8 直近の仕事での収入はどうでしたか

【2008年10月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日の合計】

	人数	割合
なし	10	9.2
1-5日	7	6.4
6-10日	14	12.8
11-15日	38	34.9
16-20日	28	25.7
21-25日	10	9.2
26日以上	2	1.8
有効回答者数	109	100.0
不明	8	
合計	117	

図12 問8 直近の仕事での収入はどうでしたか (2008年10月現金と契約で仕事をした日の合計)

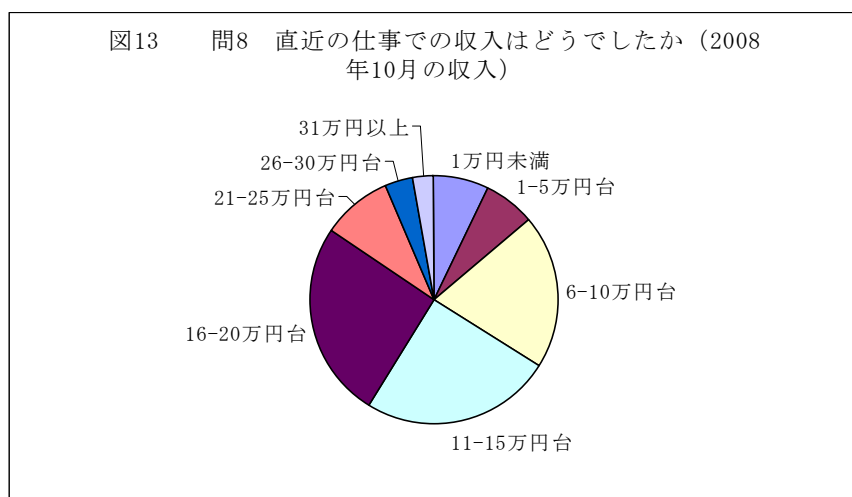


2008年10月の現金(日雇)と契約(期間)で仕事をした日を合計したところ、「11-15日」と回答した者が38人(34.9%)で最も多かった(表18、図12)。次いで、「16-20日」と回答した者が28人(25.7%)で4分の1以上を占めている。

表 19 【2008 年 10 月の収入】

	人数	割合
1 万円未満	8	7.3
1-5 万円台	7	6.4
6-10 万円台	22	20.2
11-15 万円台	27	24.8
16-20 万円台	28	25.7
21-25 万円台	10	9.2
26-30 万円台	4	3.7
31 万円以上	3	2.8
有効回答者数	109	100.0
不明	8	
合計	117	

※仕事による収入源には、アルミ缶集め、ダンボール集めなどによるものを含む。



2008 年 10 月の仕事による収入について聞いたところ、「16-20 万円台」と回答した者が 28 人（25.7%）、「11-15 万円台」と回答した者が 27 人（24.8%）とそれぞれ 2 割 5 分を占めている（表 19、図 13）。次いで多かったのが、「6-10 万円台」と回答した者で 22 人（20.2%）と 2 割を超えている。

また、2008 年 10 月の収入が 11 万円以上であった者を合計すると、6 割 5 分を超えている。

表 20 問 9 9月、10月に現金や契約で仕事をしていない理由は何ですか

	人数	割合
①仕事を探したが見つからなかった	4	100.0
②仕事を全く探していない	0	0.0
有効回答者数	4	100.0
不明	8	
非該当	105	
合計	117	

表 20 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていなかった者に対して、仕事を探したかどうかを質問した結果を示したものである。該当者のうち回答の明らかになった 4 人全員が「仕事を探したが見つからなかった」と答えている。

表 21 問 9-1 その理由は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①年齢で断られた(断られる)	1	25.0
②仕事が少ない	4	100.0
③健康に不安がある(高血圧等)	2	50.0
④体力に不安がある	2	50.0
⑤特別清掃しかできない	0	0.0
⑥自分の能力に合う仕事がない	1	25.0
⑦その他	2	50.0
有効回答数	12	300.0
有効回答者数	4	
不明	8	
非該当	105	
合計	117	

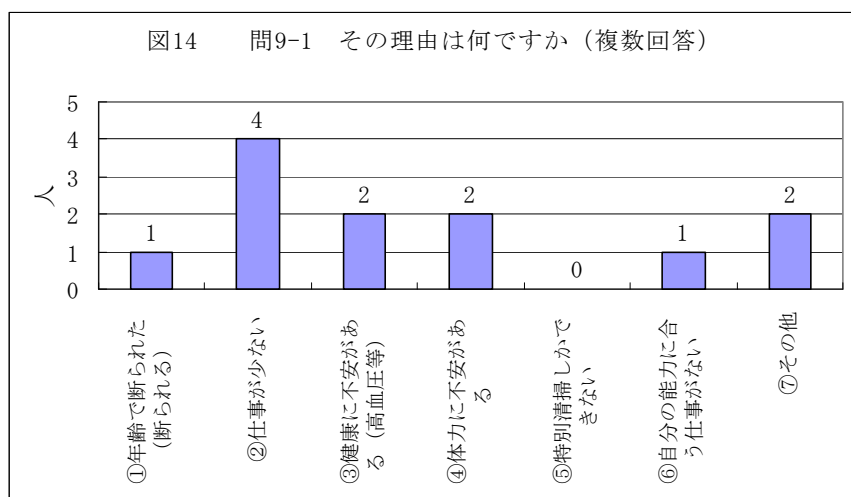
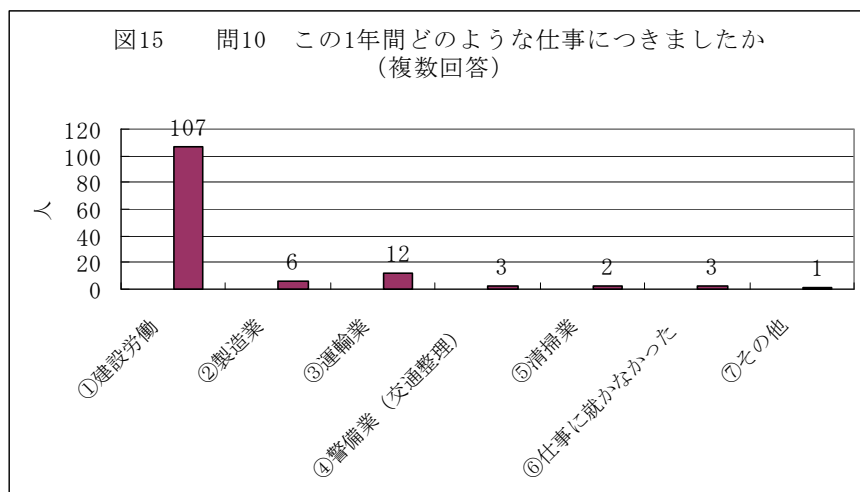


表 21、図 14 は、2008 年 9 月、10 月の 2 ヶ月間に現金、契約のいずれにおいても仕事をしていた者に対して、その理由を問うた結果を示したものである。これによると、「仕事が少ない」と回答した者が 4 人で最も多くなっている。

表 22 問 10 この1年間どのような仕事につきましたか(複数回答)

	人数	割合
①建設労働	107	91.5
土工	56	47.9
とび工	30	25.6
鉄筋工	6	5.1
型枠大工	9	7.7
解体工	31	26.5
職長	4	3.4
その他職人	18	15.4
不明	14	12.0
②製造業	6	5.1
③運輸業	12	10.3
④警備業(交通整理)	3	2.6
⑤清掃業	2	1.7
⑥仕事に就かなかった	3	2.6
⑦その他	1	0.9
有効回答数	302	258.1
有効回答者数	117	
不明	0	
合計	117	



この1年間にどのような仕事についたかを複数回答で聞いたところ、「建設労働」と回答した者が107人(91.5%)であり、9割以上の圧倒的多数を占めていることがわかる(表

22、図 15)。「建設労働」の内訳について回答した者のなかでは、「土工」と回答した者が最も多く半数弱に上っている。

表 23 問 11 主にどこで仕事を探しますか

	人数	割合
①センターの寄場内	28	28.9
②センターの周辺路上(あいりん地域内)	12	12.4
③あいりん地域外	17	17.5
④特に決まっていない	27	27.8
⑤直接現場に行くので仕事を探す場所はない	13	13.4
有効回答者数	97	100.0
不明	19	
非該当	1	
合計	117	

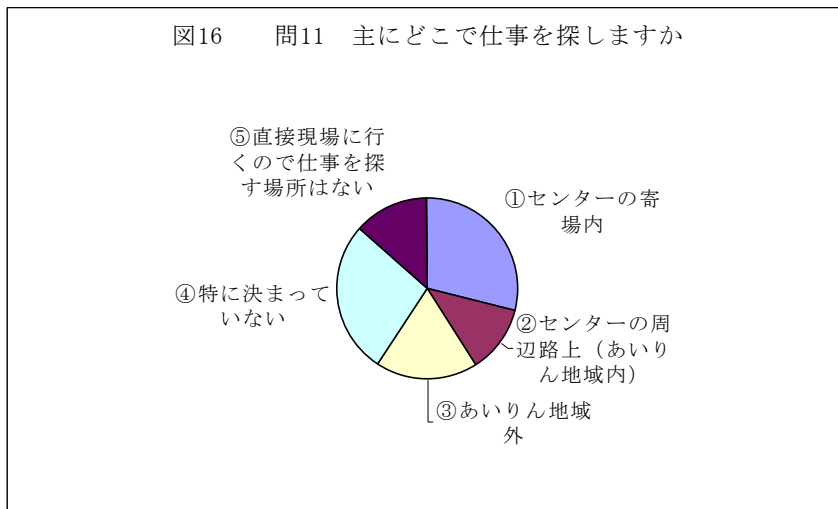


表 23、図 16 は、主にどこで仕事を探しているかを聞いた結果を示したものである。「センターの寄場内」、「特に決まっていない」と回答した者が相対的に多く、それぞれ 28 人 (28.9%)、27 人 (27.8%) となっている。また、「あいりん地域外」と回答した者も 17 人 (17.5%) みられた。

表 24 問 11-1 その場所を選ぶことが多い理由は何ですか

	人数	割合
①なじみの業者がいる	23	45.1
②業者からその場所に来るよう指示がある	1	2.0
③業者からの声がかかりやすい	5	9.8
④仲間や知人がいる	11	21.6
⑤特に理由はない	10	19.6
⑥その他	1	2.0
有効回答者数	51	100.0
不明	25	
非該当	41	
合計	117	

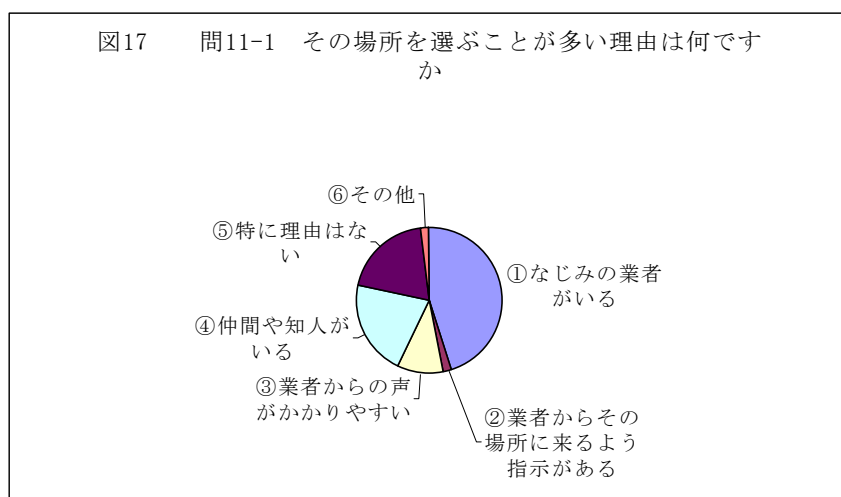


表 24、図 17 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、その場所を選んだ理由について聞いた結果を示したものである。「なじみの業者がいる」と回答した者が 23 人（45.1%）で、4 割 5 分を占めている。また、「仲間や知人がいる」、「特に理由はない」と回答した者もそれぞれ約 2 割みられる。

表 25 問 11-2 その場所へは、定期的に行っていますか

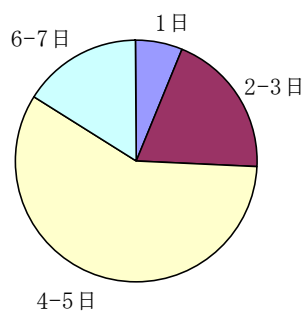
	人数	割合
①はい	41	66.1
②いいえ	21	33.9
有効回答者数	62	100.0
不明	14	
非該当	41	
合計	117	

表 25 は、主に仕事を探している場所が決まっている者に対して、そこへ定期的に行っているかどうかについて見たものである。「はい」と回答した者が 41 人（66.1%）と 6 割 5 分以上を占めている。

表 26 問 11-2① その場所へ定期的に行っている日数(1 週間に○日)

	人数	割合
1 日	2	6.5
2-3 日	6	19.4
4-5 日	18	58.1
6-7 日	5	16.1
有効回答者数	31	100.0
不明	10	
非該当	76	
合計	117	

図18 問11-2① その場所へ定期的に行っている日数
(1週間に○日)



主に仕事を探す場所が決まっている者が、その場所へ定期的に行っている場合、その日数を聞いたところ、1週間あたり「4-5日」と回答した者が18人（58.1%）で6割弱となっている（表26、図18）。また「2-3日」、「6-7日」と回答した者も、それぞれ6人（19.4%）、5人（16.1%）となっている。

1週間の半数以上、決まった場所へ行っている者が7割5分弱に上っていることがわかる。

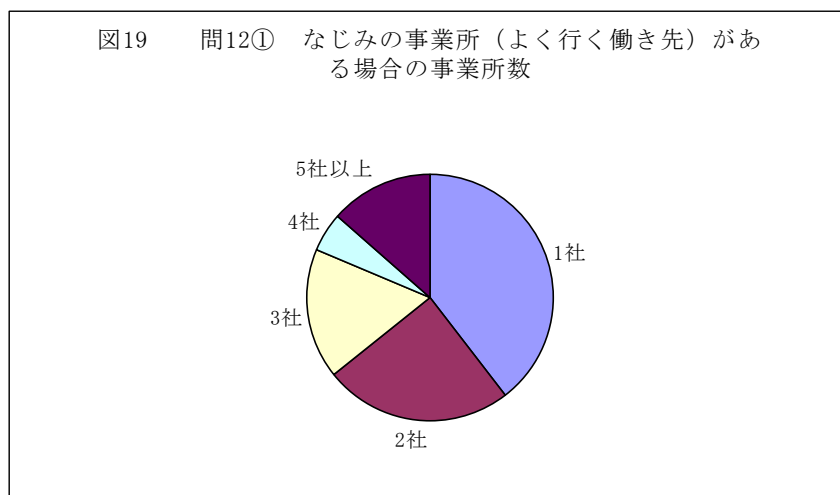
表27 問12 なじみの事業所(よく行く働き先)はありますか

	人数	割合
①ある	87	77.0
②ない	26	23.0
有効回答者数	113	100.0
不明	3	
非該当	1	
合計	117	

なじみの事業所の有無について聞いたところ、「ある」と回答した者が87人（77.0%）となっていた（表27）。7割5分以上の者がなじみの事業所（よく行く働き先）を有していることがわかる。

表28 問12① なじみの事業所(よく行く働き先)がある場合の事業所数

	人数	割合
1社	32	39.5
2社	20	24.7
3社	14	17.3
4社	4	4.9
5社以上	11	13.6
有効回答者数	81	100.0
不明	6	
非該当	30	
合計	117	

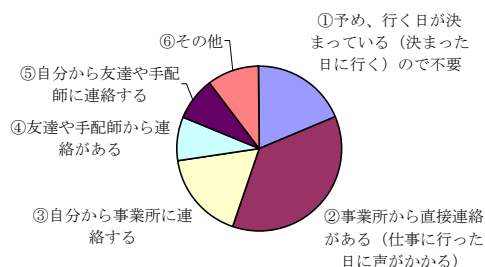


なじみの事業所があると回答した者に、その数を聞いたところ「1社」と回答した者が最も多く、4割弱を占めている（表28、図19）。また、「2社」、「3社」、「5社以上」と回答した者もそれぞれ20人（24.7%）、14人（17.3%）、11人（13.6%）みられた。

表29 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか

	人数	割合
①予め、行く日が決まっている(決まった日に行く)ので不要	13	18.8
②事業所から直接連絡がある(仕事に行った日に声がかかる)	25	36.2
③自分から事業所に連絡する	12	17.4
④友達や手配師から連絡がある	6	8.7
⑤自分から友達や手配師に連絡する	6	8.7
⑥その他	7	10.1
有効回答者数	69	100.0
不明	18	
非該当	30	
合計	117	

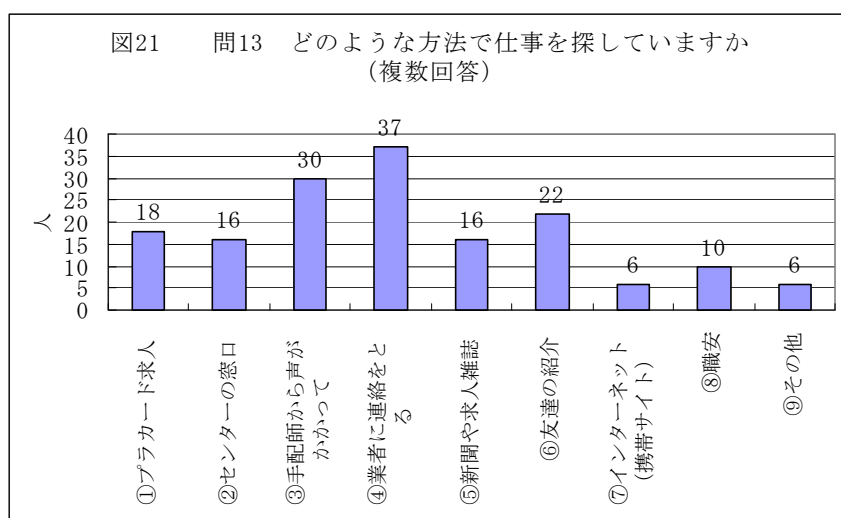
図20 問12-1 その事業所に行くことは、どうやって決めますか



さらに、その事業所に行くことはどうやって決めるかを聞いたところ、「事業所から直接連絡がある（仕事に行った日に声がかかる）」と回答した者が最も多く 25 人（36.2%）に上っている（表 29、図 20）。次いで「予め、行く日が決まっている（決まった日に行く）ので不要」、「自分から事業所に連絡する」と回答した者はそれぞれ 13 人（18.8%）、12 人（17.4%）みられる。

表 30 問 13 どのような方法で仕事を探していますか（複数回答）

	人数	割合
① プラカード求人	18	17.5
② センターの窓口	16	15.5
③ 手配師から声がかかって	30	29.1
④ 業者に連絡をとる	37	35.9
⑤ 新聞や求人雑誌	16	15.5
⑥ 友達の紹介	22	21.4
⑦ インターネット（携帯サイト）	6	5.8
⑧ 職安	10	9.7
⑨ その他	6	5.8
有効回答数	161	156.3
有効回答者数	103	
不明	14	
合計	117	



どのような方法で仕事を探しているかを複数回答で聞いたところ、「業者に連絡をとる」が37人(35.9%)で最も多かった。次いで、「手配師から声がかかって」と回答した者で30人(29.1)、「友達の紹介」と回答した者で22人(21.4%)、「プラカード求人」と回答した者で18人(17.5%)となっている。

表31 問14 携帯電話で仕事探しをしたり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがありますか

	人数	割合
①ある	76	66.1
②ない(携帯電話を持っていない)	39	33.9
有効回答者数	115	100.0
不明	2	
合計	117	

表31は、携帯電話で仕事を探したり、携帯電話で仕事の連絡をしたりすることがあるかどうかを聞いた結果を示したものである。「ある」と回答した者が76人(66.1%)、「ない(携帯電話を持っていない)」と回答した者が39人(33.9%)となっており、携帯電話を有している者は6割5分強であることがわかる。

表 32 問 15 仕事を探す時プラカードを参考にしますか？

	人数	割合
①参考になっている	45	40.2
②参考にしていない	28	25.0
③自分にとっては関係ない	22	19.6
④プラカードが何かわからない	17	15.2
有効回答者数	112	100.0
不明	5	
合計	117	

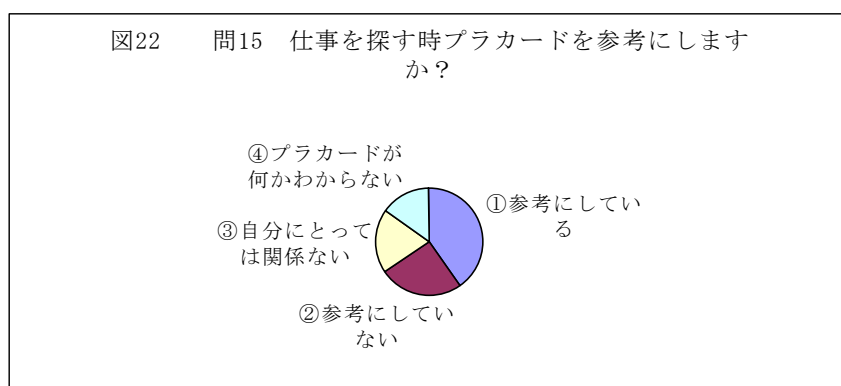
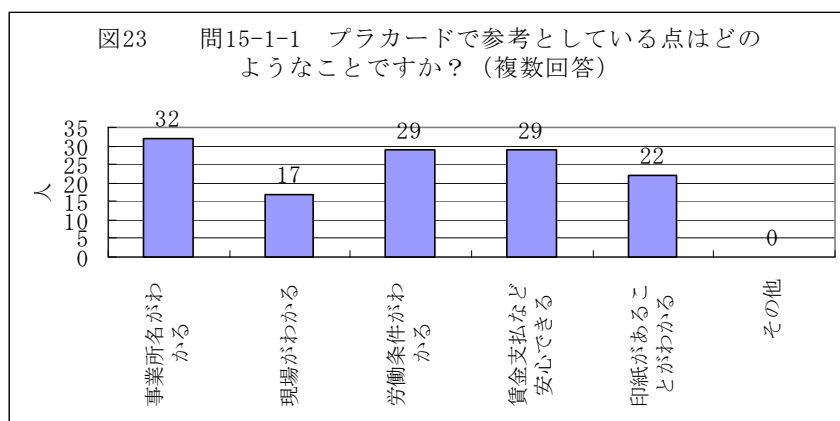


表 32、図 22 は、仕事を探す時に、プラカードを参考にするかどうかを聞いた結果を示したものである。「参考になっている」と回答した者が 45 人（40.2%）で約 4 割を占めている。一方で「参考にしていない」、「自分にとっては関係ない」と回答した者が、それぞれ 28 人（25.0%）、22 人（19.6%）となっている。

表 33 問 15-1-1 プラカードで参考としている点はどのようなことですか？(複数回答)

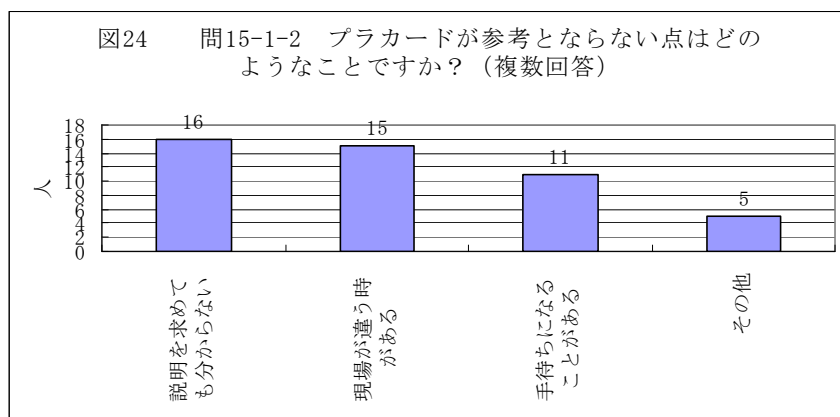
	人数	割合
事業所名がわかる	32	74.4
現場がわかる	17	39.5
労働条件がわかる	29	67.4
賃金支払など安心できる	29	67.4
印紙があることがわかる	22	51.2
その他	0	0.0
有効回答数	129	300.0
有効回答者数	43	
不明	2	
非該当	72	
合計	117	



仕事を探す時に、プラカードを参考に行している者に対して、プラカードで参考に行している点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 33、図 23 である。比較的行回答者の多かったものは、「事業所名がわかる」、「労働条件がわかる」、「賃金支払など安心できる」であり、それぞれ 32 人 (74.7%)、29 人 (67.4%) となっている。また、「印紙があることがわかる」も 22 人 (51.2%) で過半数を超えている。

表 34 問 15-1-2 プラカードが参考とならない点はどのようなことですか？(複数回答)

	人数	割合
説明を求めても分からない	16	47.1
現場が違う時がある	15	44.1
手待ちになることがある	11	32.4
その他	5	14.7
有効回答数	47	138.2
有効回答者数	34	
不明	39	
非該当	44	
合計	117	



仕事を探す時に、プラカードを参考に行している者と、参考に行していない者に対して、プラカードが参考とならない点はどのようなことかを聞いた結果を示したのが表 34、図 24 である。最も多かったのが「説明を求めても分からない」で 16 人 (47.1%) と半数弱に上っている。次いで、「現場が違う時がある」と回答した者が 15 人 (44.1%)、「手待ちになることがある」と回答した者が 11 人 (32.4%) みられる。

表 35 問 16 西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っていますか

	人数	割合
①知っている	88	75.9
②知らない	28	24.1
有効回答者数	116	100.0
不明	1	
合計	117	

表 35 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っているかどうかを聞いた結果を示したものである。「知っている」と回答した者が 88 人 (75.9%) と 7 割 5 分を超えている。

表 36 問 16-1 窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか(複数回答)

	人数	割合
①抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい	23	29.9
②紹介の時間帯を変えてほしい	8	10.4
③仕事の内容をもっと詳しく説明してほしい	18	23.4
④宿舎(寄宿舎)の状況をもっと詳しく教えてほしい	13	16.9
⑤携帯電話で求人内容を見れるようにしてほしい	15	19.5
⑥その他	18	23.4
⑦特にない	4	5.2
有効回答数	99	128.6
有効回答者数	77	
不明	11	
非該当	29	
合計	117	

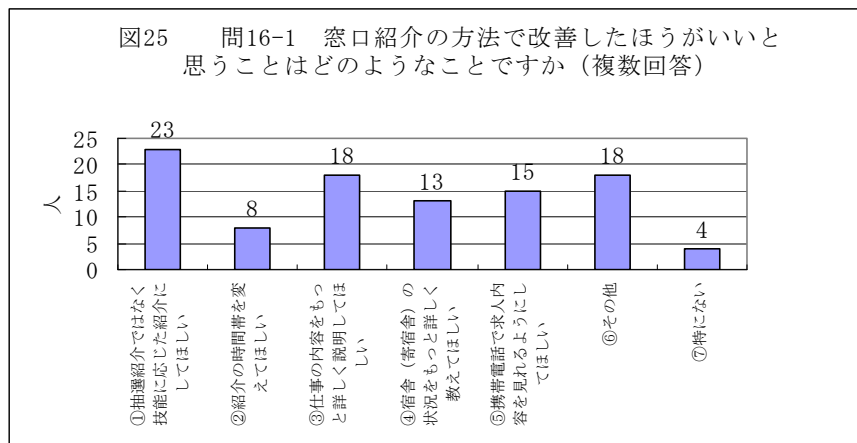
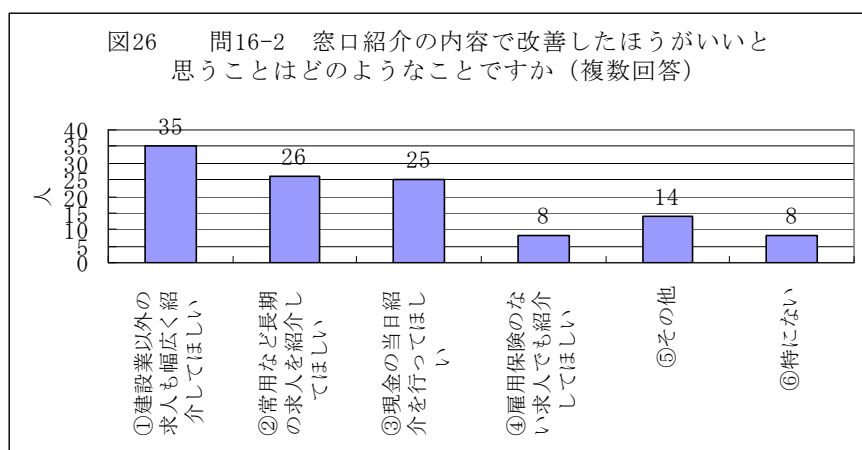


表 36、図 25 は、西成センターの窓口で仕事の紹介をしているのを知っている者に対して、窓口紹介の方法で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いた結果を示したものである。「抽選紹介ではなく技能に応じた紹介にしてほしい」と回答した者が 23 人 (29.9%) で 3 割弱に上っている。また、「仕事の内容をもっと詳しく教えてほしい」と回答した者も 2 割強みられた。

表 37 問 16-2 窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことですか
(複数回答)

	人数	割合
①建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい	35	46.1
②常用など長期の求人を紹介してほしい	26	34.2
③現金の当日紹介を行ってほしい	25	32.9
④雇用保険のない求人でも紹介してほしい	8	10.5
⑤その他	14	18.4
⑥特にない	8	10.5
有効回答数	116	152.6
有効回答者数	76	
不明	12	
非該当	29	
合計	117	



さらに、窓口紹介の内容で改善したほうがいいと思うことはどのようなことかを複数回答で聞いたところ、「建設業以外の求人も幅広く紹介してほしい」が 35 人 (46.1%) と 4 割 5 分を超えている (表 37、図 26)。次いで、「常用など長期の求人を紹介してほしい」、「現金の当日紹介を行ってほしい」と回答した者もそれぞれ 3 割以上となっている。

表 38 問 17 西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週 1 日以上)施設は、どこですか(複数回答)

	人数	割合
①あいりん職安	27	28.7
②玉出社会保険事務所の窓口	9	9.6
③食堂、売店	32	34.0
④理髪店	2	2.1
⑤ロッカールーム	2	2.1
⑥シャワールーム	5	5.3
⑦その他	4	4.3
⑧特にない	32	34.0
有効回答数	113	120.2
有効回答者数	94	
不明	23	
合計	117	

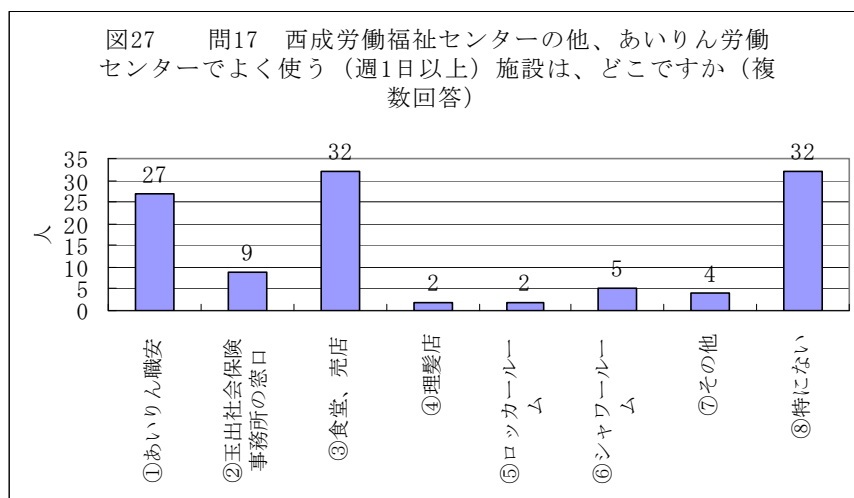
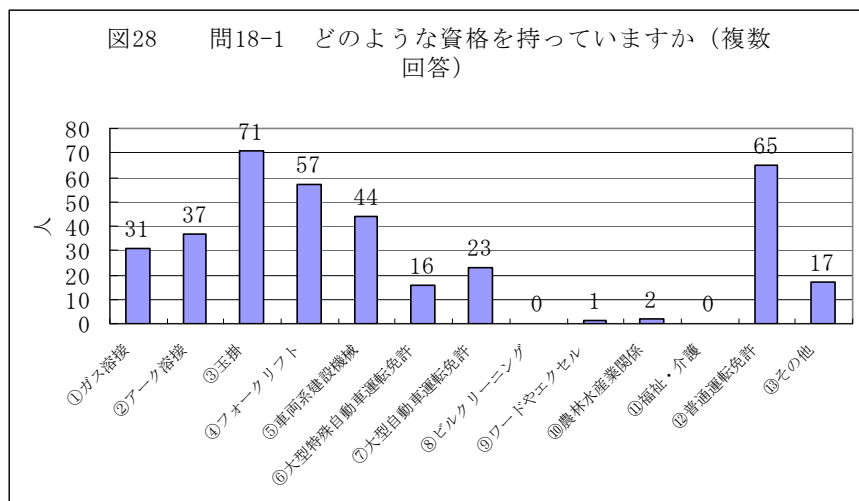


表 38、図 27 は、西成労働福祉センターの他、あいりん労働センターでよく使う(週 1 日以上)施設はどこかを、複数回答で聞いた結果を示したものである。「食堂、売店」、「特にない」と回答した者がそれぞれ 32 人(34.0%)で多くなっている。次に多いのが「あいりん職安」で 27 人(28.7%)と 3 割弱を占めている。

表 39 問 18-1 どのような資格を持っていますか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	31	28.7
②アーク溶接	37	34.3
③玉掛	71	65.7
④フォークリフト	57	52.8
⑤車両系建設機械	44	40.7
⑥大型特殊自動車運転免許	16	14.8
⑦大型自動車運転免許	23	21.3
⑧ビルクリーニング	0	0.0
⑨ワードやエクセル	1	0.9
⑩農林水産業関係	2	1.9
⑪福祉・介護	0	0.0
⑫普通運転免許	65	60.2
⑬その他	17	15.7
有効回答数	364	337.0
有効回答者数	108	
不明・無回答	9	
合計	117	



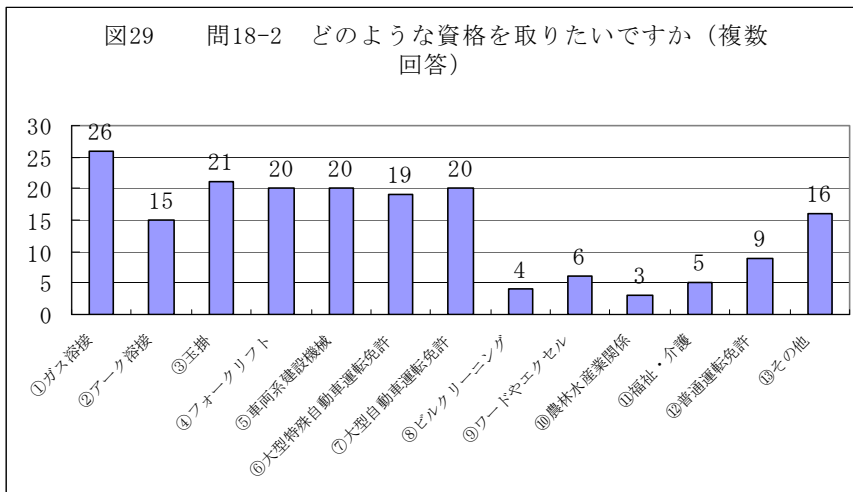
どのような資格を持っているのかを複数回答で聞いた結果を示したのが表 39、図 28 である。最も多いのが「玉掛」で 71 人 (65.7%) となっている。次いで、「普通運転免許」で 65 人 (60.2%)、「フォークリフト」が 57 人 (52.8%) となっている。

一方、資格を有している者がいなかったり少なかったりしたのが「ビルクリーニング」、

「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」であった。

表 40 問 18-2 どのような資格を取りたいですか(複数回答)

	人数	割合
①ガス溶接	26	36.6
②アーク溶接	15	21.1
③玉掛	21	29.6
④フォークリフト	20	28.2
⑤車両系建設機械	20	28.2
⑥大型特殊自動車運転免許	19	26.8
⑦大型自動車運転免許	20	28.2
⑧ビルクリーニング	4	5.6
⑨ワードやエクセル	6	8.5
⑩農林水産業関係	3	4.2
⑪福祉・介護	5	7.0
⑫普通運転免許	9	12.7
⑬その他	16	22.5
有効回答数	184	259.2
有効回答者数	71	
不明・無回答	46	
合計	117	



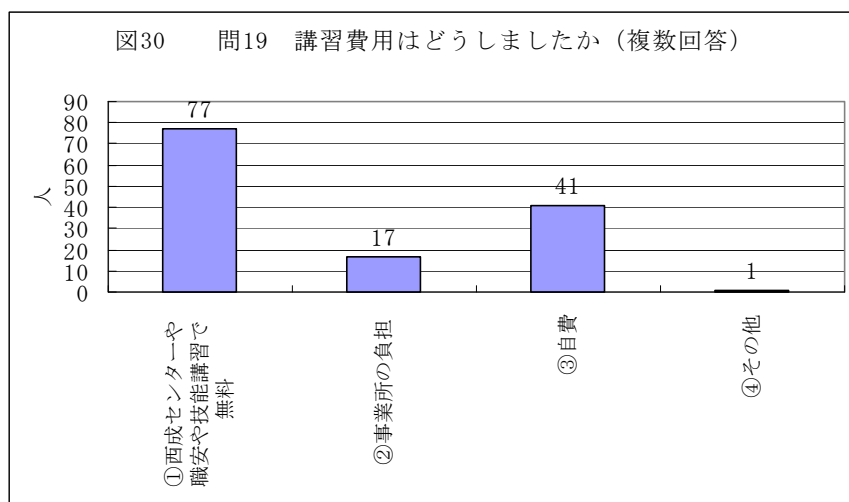
次に、どのような資格を取りたいかについて質問した結果を示したのが表 40、図 29 である。「ガス溶接」と回答した者が 26 人 (36.6%) で最も多かった。次いで、「玉掛」、「フ

オークリフト」、「車両系建設機械」、「大型自動車運転免許」、「大型特殊自動車運転免許」と回答した者が相対的に多く、それぞれ2割5分～3割弱を占めている。

一方、実際に取得している者が少なかった資格に関しては、少数ではあるが、「ビルクリーニング」、「ワードやエクセル」、「農林水産業関係」、「福祉・介護」についていずれも資格を取得したいという者がみられる。

表 41 問 19 講習費用はどうしましたか(複数回答)

	人数	割合
①西成センターや職安や技能講習で無料	77	75.5
②事業所の負担	17	16.7
③自費	41	40.2
④その他	1	1.0
有効回答数	136	133.3
有効回答者数	102	
不明・非該当	15	
合計	117	



前問で何らかの資格を取得していると回答した者に対して、その講習費用をどうしたのかについて複数回答で聞いた結果を示したのが表 41、図 30 である。「西成センターや職安や技能講習で無料」と回答した者が 77 人 (75.5%) で 7 割 5 分を超えている。次いで、「自費」が 41 人 (40.2%)、「事業所の負担」と回答した者が 17 人 (16.7%) となっている。「西成センターや職安や技能講習で無料」と回答した者が圧倒的多数を占めていることがわかる。

表 42 問 20 会社勤めなど常用の仕事を希望していますか

	人数	割合
①希望している	94	84.7
②希望していない	17	15.3
有効回答者数	111	100.0
不明	6	
合計	117	

表 42 は、会社勤めなど常用の仕事を希望しているかどうかについてみたものである。「希望している」と回答した者が 94 人 (84.7%) と 8 割 5 分弱を占め、「希望していない」と回答した者が 17 人 (15.3%) と 1 割 5 分を占めている。「希望している」と回答した者が圧倒的多数を占めていることがわかる。

表 43 問 20-1 希望する職種は何ですか(複数回答)

	人数	割合
①建設業	71	75.5
②製造業	10	10.6
③運輸業	20	21.3
④清掃業	1	1.1
⑤警備業	0	0.0
⑥農林漁業	10	10.6
⑦事務	4	4.3
⑧その他	9	9.6
有効回答数	125	133.0
有効回答者数	94	
不明	0	
非該当	23	
合計	117	

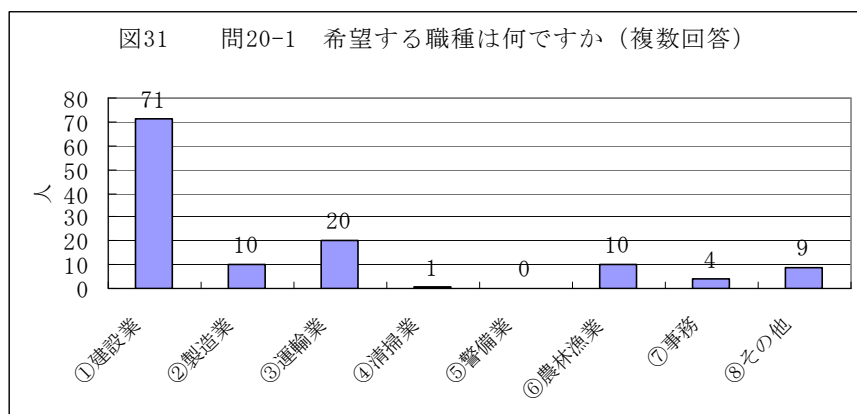


表 43、図 31 は、会社勤めなど常用の仕事希望していると回答した者に対して、希望する職種を複数回答で聞いた結果を示したものである。「建設業」と回答した者が 71 人（75.5%）を占め、最も多くなっている。次いで、「運輸業」が 20 人（21.3%）、「製造業」が 10 人（10.6%）、「農林漁業」が 10 人（10.6%）となっている。希望が「建設業」に集中している様子がみてとれる。

表 44 問 20-2 常用就職するために、どのような手助けがほしいでしょうか（複数回答）

	人数	割合
①技能講習	51	56.0
②現場実習訓練	21	23.1
③教養講座	8	8.8
④求人情報の提供	16	17.6
⑤自分に向けた就職のあっせん	26	28.6
⑥適性相談（キャリアカウンセリング）	5	5.5
⑦就職活動のノウハウの提供（履歴書の書き方や面接への対応方法など）	10	11.0
⑧当座の生活資金の援助	28	30.8
⑨住宅借り上げの支援（保証人）	14	15.4
⑩就職に当たっての身元保証	12	13.2
⑪就職後の相談支援	6	6.6
⑫その他	4	4.4
有効回答数	201	220.9
有効回答者数	91	
不明	3	
非該当	23	
合計	117	

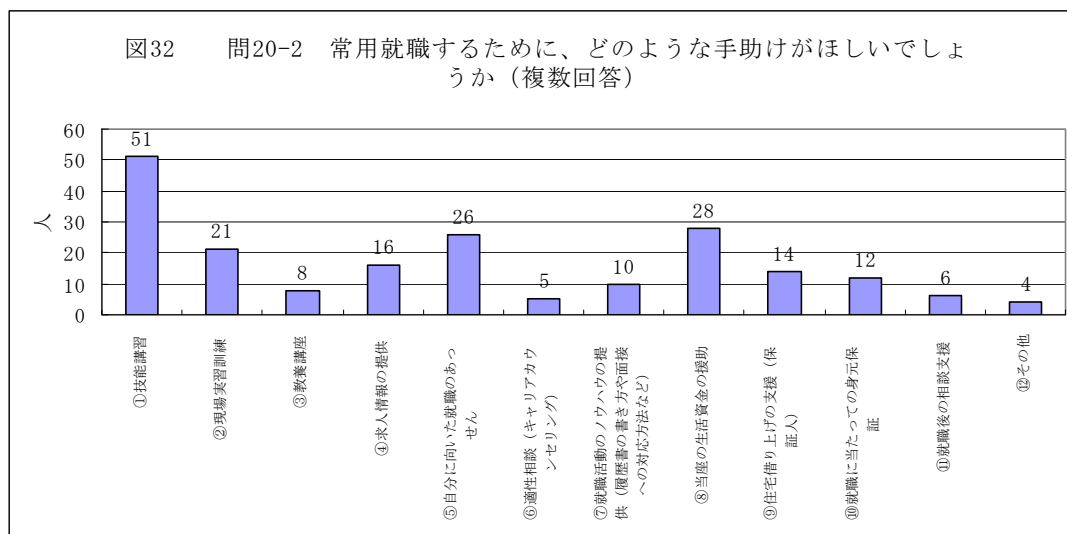
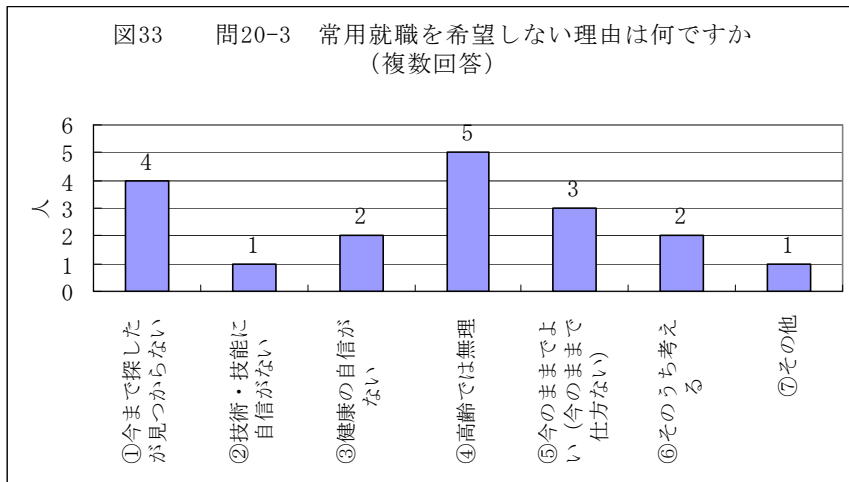


表 44、図 32 は、会社勤めなど常用の仕事を希望すると回答した者に対して、常用就職するために、どのような手助けがほしいかを複数回答で聞いた結果を示したものである。最も多かったのが「技能講習」で 51 人（56.0%）であり、半数を超えた。次いで、「当座の生活資金の援助」、「自分に向けた就職のあっせん」が一定数みられ、それぞれ 28 人（30.8%）、26 人（28.6%）と約 3 割に上っている。

表 45 問 20-3 常用就職を希望しない理由は何ですか（複数回答）

	人数	割合
①今まで探したが見つからない	4	23.5
②技術・技能に自信がない	1	5.9
③健康の自信がない	2	11.8
④高齢では無理	5	29.4
⑤今のままでよい（今のままで仕方ない）	3	17.6
⑥そのうち考える	2	11.8
⑦その他	1	5.9
有効回答数	18	105.9
有効回答者数	17	
不明	0	
非該当	100	
合計	117	



会社勤めなど常用の仕事を希望しないと回答した者に対して、常用就職を希望しない理由を複数回答で聞いた結果を示したのが、表 45、図 33 である。「高齢では無理」と回答した者が 5 人 (29.4%) で 3 割弱に上っている。また、「今まで探したが見つからない」、「今のままでよい (今のままで仕方ない)」と回答した者もそれぞれ 4 人、3 人となっている。